

新型コロナウイルス感染症における
自宅・療養施設からの
救急車要請等のためのトリアージ

藤田医科大学病院 救急総合内科
岩田充永

制作協力:廣末美幸
(藤田医科大学病院 救急総合内科)

宿泊療養位置づけ

軽症者のうち、高齢者等と同居している軽症者等

- 同居の高齢者に感染するのを防ぐため自宅療養ではなく
宿泊療養が望ましい
- 特に、**医療従事者等**と同居している軽症者等については、
特に宿泊療養を優先すべき
(病院等でのクラスター発生を避けるため)

自宅療養の条件

入院病床および宿泊施設の状況

軽症者等の家庭の事情を踏まえて自宅療養が選択される。

※ただし、軽症者等が**外出しない**という条件を守れること

緊急度判定支援システム

JTAS

Japan Triage and Acuity Scale

2017 ガイドブック

監修
日本救急医学会
日本救急看護学会
日本小児救急医学会
日本臨床救急医学会

へるす出版

レベル1—蘇生

レベル2—緊急

レベル3—準緊急

レベル4—低緊急

レベル5—非緊急

トリアージにおける5つのレベル

緊急度判定支援システム

JTAS : Japan Triage and Acuity Scale

蘇生 (Blue)	直ちに診療・治療が必要	心停止 重症外傷 痙攣持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急 (Red)	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛、腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為 など	15分毎の再評価
準緊急 (Yellow)	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 痙攣後の状態(意識は回復) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛、腹痛 活動期分娩 など	30分毎の再評価
低緊急 (Green)	1時間以内に治療が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷(止血済み) 不穏状態 など	1時間毎の再評価
非緊急 (White)	2時間以内に診察	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷 処方、検査希望 など	2時間毎の再評価



新型コロナウイルス感染症

COVID-19

診療の手引き **第5.2版**

2021

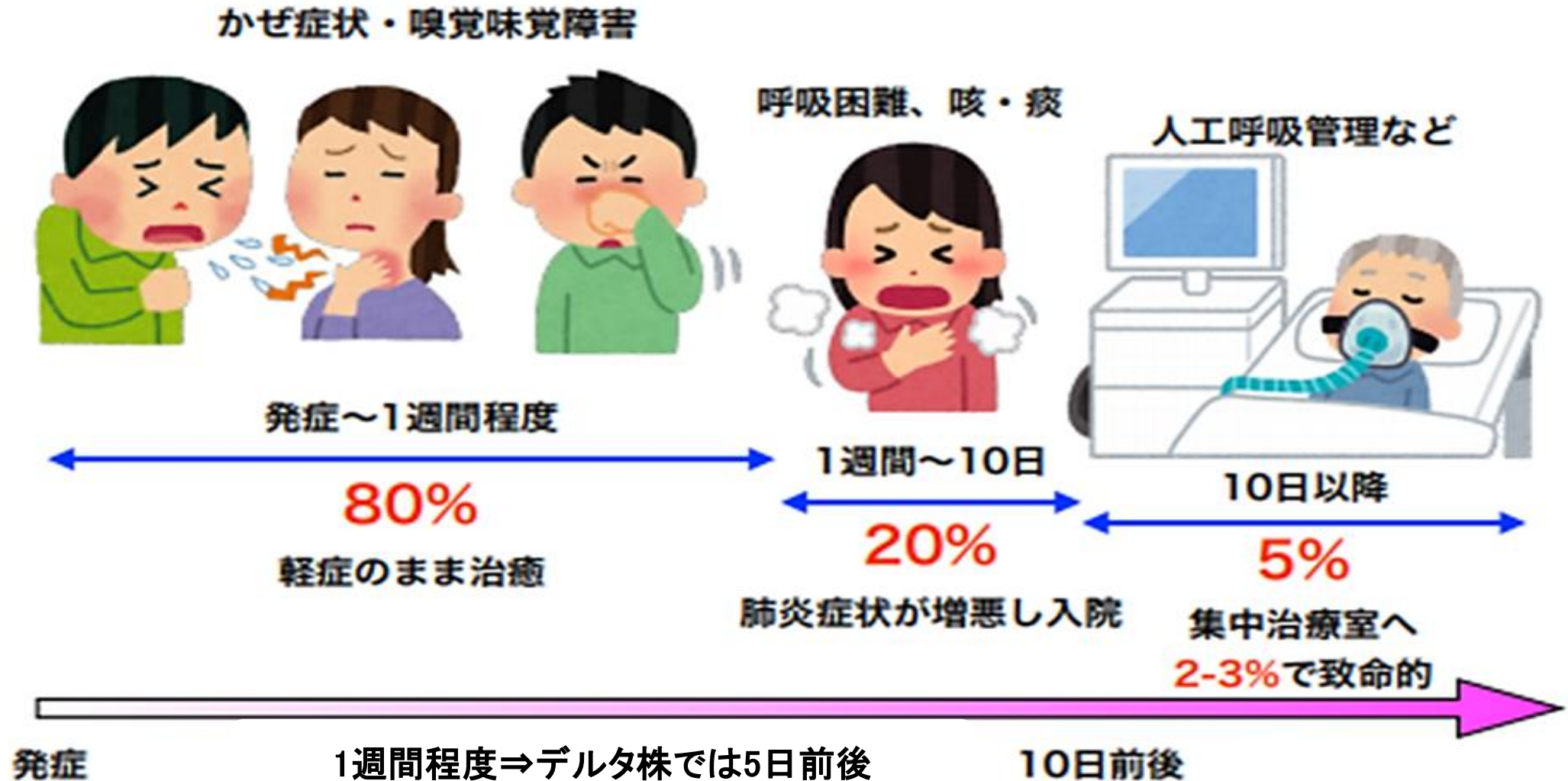
2021年7月30日発行

作成：診療の手引き検討委員会

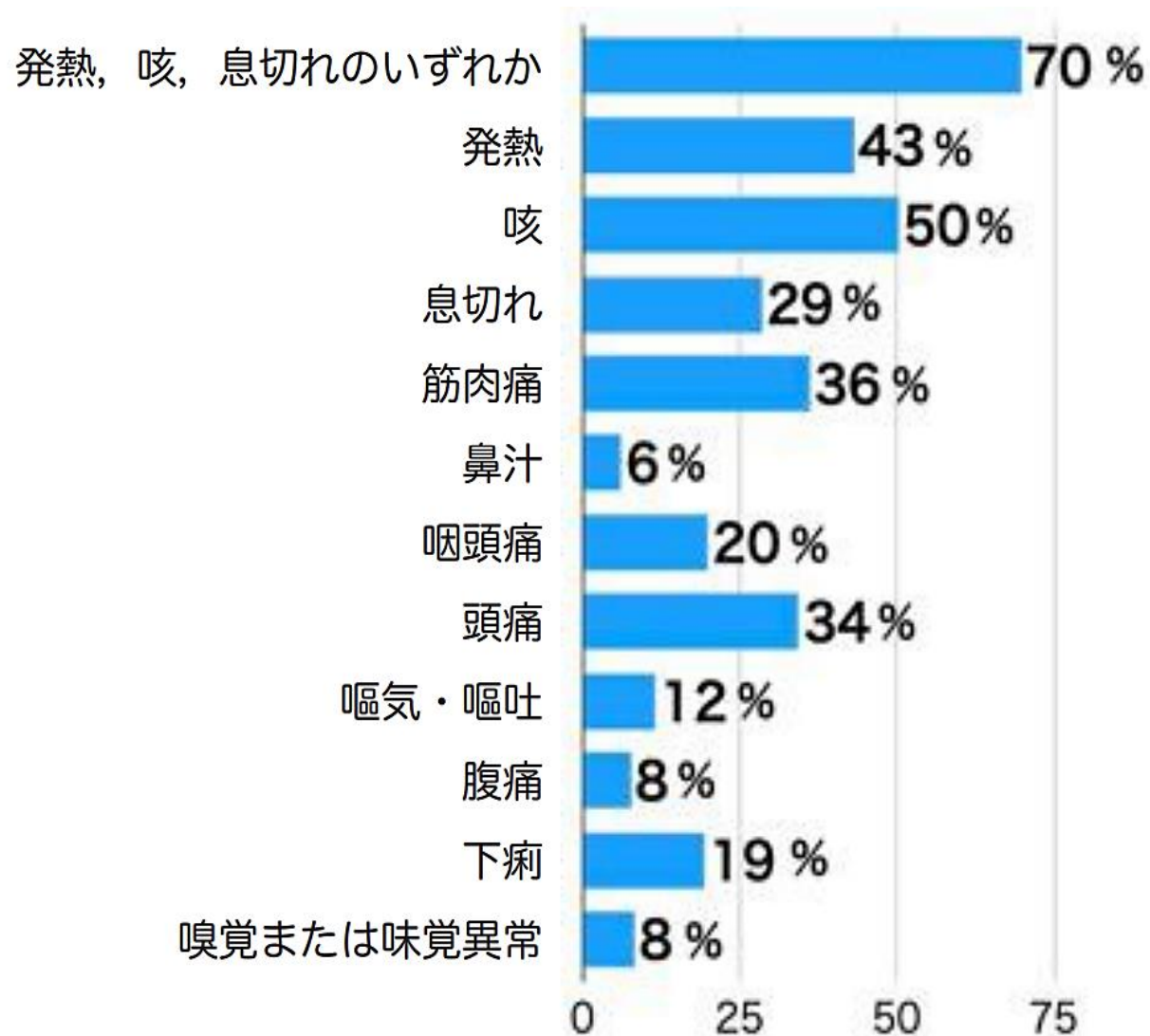
新型コロナウイルス感染症の臨床経過

- 新型コロナウイルスの潜伏期：**14 日以内**
- 病原体に曝露されてから **5 日前後で発症**することが多い
- 感染後に無症状のまま経過する者の割合は不明
(30% 前後と推定)

新型コロナウイルス感染症の臨床経過



新型コロナウイルス感染症の初期症状



- **発熱, 呼吸器症状**(咳嗽, 咽頭痛)

- **倦怠感**

- **頭痛**

- **関節痛・筋肉痛**

などのインフルエンザ様の症状

+

- **嗅覚・味覚障害**が特徴的

- その他、嘔吐・下痢・腹痛などの消化器症状

重症化のリスク因子

入院の可能性が上がる

- 65 歳以上の高齢者
- 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
- 慢性腎臓病
- 2 型糖尿病
- 高血圧
- 脂質異常症
- 肥満 (BMI 30 以上)
- 喫煙
- 悪性腫瘍
- 固形臓器移植後の免疫不全
- 妊娠後期 (妊娠28週以降)

新型コロナウイルス感染症の重症度分類

重症度	酸素飽和度	臨床状態	診療のポイント
軽 症	$SpO_2 \geq 96\%$	呼吸器症状なし or 咳のみで呼吸困難なし いずれの場合であっても肺炎所見を認めない	<ul style="list-style-type: none">・ 多くが自然軽快するが、急速に病状が進行することもある・ リスク因子のある患者は入院の対象となる
中等症Ⅰ 呼吸不全なし	$93\% < SpO_2 < 96\%$	呼吸困難, 肺炎所見	<ul style="list-style-type: none">・ 入院の上で慎重に観察・ 低酸素血症があっても呼吸困難を訴えないことがある・ 患者の不安に対処することも重要
中等症Ⅱ 呼吸不全あり	$SpO_2 \leq 93\%$	酸素投与が必要	<ul style="list-style-type: none">・ 呼吸不全の原因を推定・ 高度な医療を行える施設へ転院を検討
重 症		ICU 入室 or 人工呼吸器が必要	<ul style="list-style-type: none">・ 人工呼吸器管理に基づく重症肺炎の2分類 (L型, H型)・ L型: 肺はやわらかく, 換気量が増加・ H型: 肺水腫で, ECMO の導入を検討・ L型からH型への移行は判定が困難

救急要請のめやす

- **SpO₂値 酸素無しで95%以下**（中等症以上に該当）
 - 酸素投与が必要、または近々そうなる可能性
 - 入院して酸素投与以外の治療も並行して行う必要がある
- **高齢者**ではSpO₂値以外にも…
 - 下痢に伴う脱水、食欲不振**などからバイタルサインが崩れやすい
 - 高熱により意識変容や意識障害**を来たす場合

注意：自家用車を自分で運転するのは危険⇒**救急要請**